

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第1会場(幕張メッセ 国際会議場2階 コンベンションホールA)

ランチョンセミナー1 「心血管患者に対する舌圧トレーニングの臨床的評価」

共催：株式会社ジェイ・エム・エス

座長：中山 敦子(榊原記念病院 循環器内科)

LS1 心血管患者に対する舌圧トレーニングの臨床的評価

○島本 健

京都大学医学部附属病院 心臓血管外科

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第3会場(幕張メッセ 国際会議場2階 国際会議室)

ランチョンセミナー2 「運動・食事・生活指導に活かすCPX」

共催：ミナト医科学株式会社

座長：村田 誠(国立研究開発法人 国立循環器病研究センター)

LS2 運動・食事・生活指導に活かすCPX

○安達 仁

群馬県立心臓血管センター心臓リハビリテーション部/東京医科大学循環器内科

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第4会場(幕張メッセ 国際会議場2階 中会議室201)

ランチョンセミナー3
「エビデンスに基づくATTR-CM治療：タファミジスの臨床的意義」

共催：ファイザー株式会社

座長：網谷 英介(東京大学医学部附属病院 循環器内科/高度心不全治療センター)

LS3-1 あなたにも見つけられるATTR-CM, 押さえるべきポイントはここにある

○鍋田 健

北里大学医学部 循環器内科学

LS3-2 その治療、受けなきゃだめですか？

～機会損失と現状維持バイアスを意識した包括的ATTR-CMチーム医療～

○矢野 俊之

札幌医科大学医学部 内科学講座 循環病態内科学分野

第32回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第5会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室301)

ランチョンセミナー4 「遠隔心臓リハビリテーションの可能性と未来」

共催：株式会社リモハブ

座長：三浦 伸一郎(福岡大学病院)

LS4-1 心リハを“届けたい”だけでは届かない患者がいる
—熊本県の挑戦から見える遠隔心リハの可能性—

○松澤 泰志

熊本大学病院循環器内科心臓リハビリテーション寄附講座

LS4-2 遠隔心臓リハビリ総論

○明石 嘉浩

聖マリアンナ医科大学循環器内科学

LS4-3 遠隔心リハの導入と運用の実際

○加藤 倫卓

名古屋市立大学医学部保健医療学科

2025年6月、遠隔心臓リハビリテーション用プログラム「リモハブ CR U」が薬事承認を取得し、遠隔心臓リハビリテーションは社会実装に向けた新たなステージを迎えつつあります。近年、遠隔心リハのためのさまざまなアプリの開発や地域・医療機関における導入の試みも広がりを見せており、その有効な活用方法や運用体制の構築が重要な課題となってきています。本セミナーでは、熊本県における先進的な取組み、遠隔心リハを取り巻く概況、ならびに遠隔心リハの導入と運用の実際について、本領域の第一線で取り組まれている先生方にご講演いただきます。

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第6会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室302)

ランチョンセミナー5

「汗乳酸センサ「SweatWatch®(スウェットウォッチ)」を用いた臨床応用ならびに研究事例紹介」

共催：株式会社グレースイメージング

座長：二階堂 暁(八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック)

LS5-1 SweatWatchの実臨床での使用経験と活かし方

○渡邊 崇量

岐阜大学医学部附属病院 循環器内科・救急災害部門 検査部

LS5-2 SweatWatchが切り拓く高齢心不全患者に対する新しい心臓リハビリテーションの可能性

○中出 泰輔

順天堂大学医学部附属順天堂医院 循環器内科学講座

近年、ウェアラブルデバイスを用いた生体モニタリング技術の進歩は、臨床現場において新たな価値を創出している。本セミナーでは、汗中乳酸を計測可能なウェアラブルデバイス「SweatWatch®」(医療機器承認済)を基軸に、心リハを中心とした実臨床での活用事例を詳述し、その将来展望を議論する。岐阜大学の渡邊崇量先生には、「SweatWatchの実臨床での使用経験と活かし方」と題し、現場導入における知見を共有、実臨床におけるデータの解釈および実践的な運用法と、最新の研究成果についてご講演いただく。続いて順天堂大学の中出泰輔先生には、「SweatWatchが切り拓く高齢心不全患者に対する新しい心臓リハビリテーションの可能性」と題し、高齢心不全患者における運動中の乳酸動態を可視化し、個々の症例に最適化された安全かつ効果的なリハビリテーションプログラムの将来展望についてご講演いただく。本セミナーを通じ、SweatWatch®の現在地を共有するとともに、その臨床応用における可能性を考察したい。座長には八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニックの二階堂暁先生をお迎えし、活発な討論を行いたい。

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第7会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室303)

ランチョンセミナー6

「心不全の進展抑制を目指した高血圧治療 ～JSH2025を踏まえて～」

共催：第一三共株式会社

座長：新沼 廣幸(聖路加国際病院循環器内科)

LS6 心不全の進展抑制を目指した高血圧治療 ～JSH2025を踏まえて～

○安斉 俊久

北海道大学大学院医学研究院 循環器内科学教室

第32回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第9会場(幕張メッセ 国際会議場1階 中会議室103)

ランチョンセミナー7

共催：Alnylam Japan 株式会社

座長：木庭 新治(昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門・大学院医学研究科)

- LS7-1 身近な心疾患に潜む心アミロイドーシス ～診断のポイントとアムヴトラへの期待～
○岡田 厚
国立循環器病研究センター 心不全・移植部門
- LS7-2 心アミロイドーシスに対する包括的治療戦略：疾患修飾薬と包括的心臓リハビリテーションのシナジー
○島田 幸洋¹、岡田 厚²、村田 誠^{1,3}
¹国立循環器病研究センター 心血管リハビリテーション科、²国立循環器病研究センター 心不全・移植部門、
³国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第10会場(幕張メッセ 国際会議場1階 中会議室104)

ランチョンセミナー8

「心臓リハビリテーションに睡眠医療をどう組み込むか
— 循環器診療からチーム医療へ —

共催：帝人ヘルスケア株式会社

座長：安達 太郎(昭和医科大学保健医療学部 看護学科/

昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門/昭和医科大学病院附属東病院 睡眠医療センター)

- LS8-1 心臓リハビリテーションに睡眠時無呼吸症候群をどう取り込むか
— エビデンスに基づく介入戦略 —
○葛西 隆敏
順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学
- LS8-2 循環器疾患と睡眠時無呼吸症候群
— チーム医療で支えるCPAP治療 地域医療の現場から —
○後平 泰信
医療法人徳洲会 札幌もいわ徳洲会病院

第1日目 7月18日(土) 12:10～13:10 第13会場(幕張メッセ 国際展示場1階 展示ホール8)

ランチョンセミナー16 「監視型心リハにおけるワイヤレス血圧計の利便性と重要性」

共催：株式会社グッドケア

座長：窪蘭 琢郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

- LS16 監視型心リハにおけるワイヤレス血圧計の利便性と重要性
○伊東 秀崇
虎の門病院

※日にち・会場順となります。

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第1会場(幕張メッセ 国際会議場2階 コンベンションホールA)

ランチョンセミナー9 「心リハスタッフも知っておきたい注意すべき感染症」

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

座長：坂田 泰史(大阪大学大学院 医学系研究科)

LS9 子どもだけではなく～RSウイルス感染症～

○倉井 大輔

杏林大学医学部付属病院

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第3会場(幕張メッセ 国際会議場2階 国際会議室)

ランチョンセミナー10 「世界の遠隔心臓リハビリと今後の展望」

共催：株式会社 CaTe

座長：明石 嘉浩(聖マリアンナ医科大学 循環器内科学)

LS10-1 「欧州における遠隔心臓リハビリ」～最新のエビデンスで紐解く社会実装の現在地～

○貝原 俊樹

聖マリアンナ医科大学 循環器内科学/心臓リハビリテーションセンター

LS10-2 「米国の潮流にみる遠隔心臓リハビリ」

～Mayo Clinic 留学から見えた実像～

○濱 知明

東京医科大学病院 循環器内科/心臓リハビリテーションセンター

心臓リハビリテーションは、心血管疾患患者の予後改善や再入院抑制に有効な治療として推奨されている一方、通院負担や医療資源の制約から参加率・継続率の向上が課題となっている。その解決策の一つとして、遠隔心臓リハビリテーションの重要度は高い。

本セミナーでは、貝原俊樹先生より「欧州における遠隔心臓リハビリ～最新のエビデンスで紐解く社会実装の現在地～」と題し、欧州における遠隔心臓リハビリテーションの動向についてご講演いただく。

また、濱知明先生より「米国の潮流にみる遠隔心臓リハビリ～Mayo Clinic 留学から見えた実像～」と題し、米国における遠隔心臓リハビリテーションの現状についてご紹介いただく。

欧州・米国それぞれの視点から遠隔心臓リハビリテーションの現状と将来像を考察し、日本における社会実装の課題と今後の展望について議論を進める。

第32回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第5会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室301)

ランチョンセミナー 11

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

座長：青木 二郎(聖路加国際病院 循環器内科)

LS11-1 高齢心不全に本当に必要な評価とは？ -エビデンスから紐解く実践法-

○中出 泰輔

順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学

LS11-2 重症心不全診療における SGLT2 阻害薬の立ち位置

○石田 純一

東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第6会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室302)

ランチョンセミナー 12

「デバイス植え込み後の心不全患者のモニタリングについて考える」

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長：石田 岳史(東京科学大学 総合診療科/茨城県北西部地域医療学講座)

LS12 デバイス植え込み後の心不全患者のモニタリングについて考える

○白石 裕一

京都府立医科大学 大学院医学研究科 循環器内科・腎臓内科学 循環器内科・リハビリテーション部

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第7会場(幕張メッセ 国際会議場3階 中会議室303)

ランチョンセミナー 13 「肺動脈性肺高血圧症(PAH)の最新治療戦略」

共催：MSD株式会社

座長：福本 義弘(久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科学部門)

LS13-1 肺高血圧症に対する包括的心臓リハビリテーション -エビデンスと実臨床の最前線-

○合田 あゆみ

杏林大学循環器内科

LS13-2 肺動脈性肺高血圧症診療の新たな潮流 -エアウィン®を通じた患者毎の治療目標設定-

○皆月 隼

東京大学医学部附属病院 循環器内科

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第9会場(幕張メッセ 国際会議場1階 中会議室103)

ランチョンセミナー 14

「生命予後を見据えた心不全治療における心臓リハビリテーションと薬物療法の融合
～ SGLT2 阻害薬の意義を考える～」

共催：アストラゼネカ株式会社

座長：木庭 新治(昭和医科大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門・大学院医学研究科)

LS14 生命予後を見据えた心不全治療における心臓リハビリテーションと薬物療法の融合
～ SGLT2 阻害薬の意義を考える～

○西畑 庸介

聖路加国際病院 循環器内科

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第10会場(幕張メッセ 国際会議場1階 中会議室104)

ランチョンセミナー 17 「心リハに DX を取り入れた運動療法」

共催：テクノジム ジャパン株式会社

座長：佐藤 真治(帝京大学スポーツ医療学科 健康スポーツコース)

LS17-1 ○板矢 悠佑

医療法人徳洲会メディカルフィットネスAWAI

LS17-2 ○三上 健太

医療法人社団幸会岩槻南病院

※日にち・会場順となります。

第2日目 7月19日(日) 13:00～14:00 第12会場(幕張メッセ 国際展示場1階 展示ホール8)

ランチョンセミナー 15

「低酸素環境を利用した運動療法の可能性：マスク型間欠的低酸素トレーニングを用いた試み」

共催：インターリハ株式会社

座長：竹中 真規(医療法人 TASUKI / 循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック)

LS15 低酸素環境を利用した運動療法の可能性：マスク型間欠的低酸素トレーニングを用いた試み

○齊藤 正和

順天堂大学保健医療学部